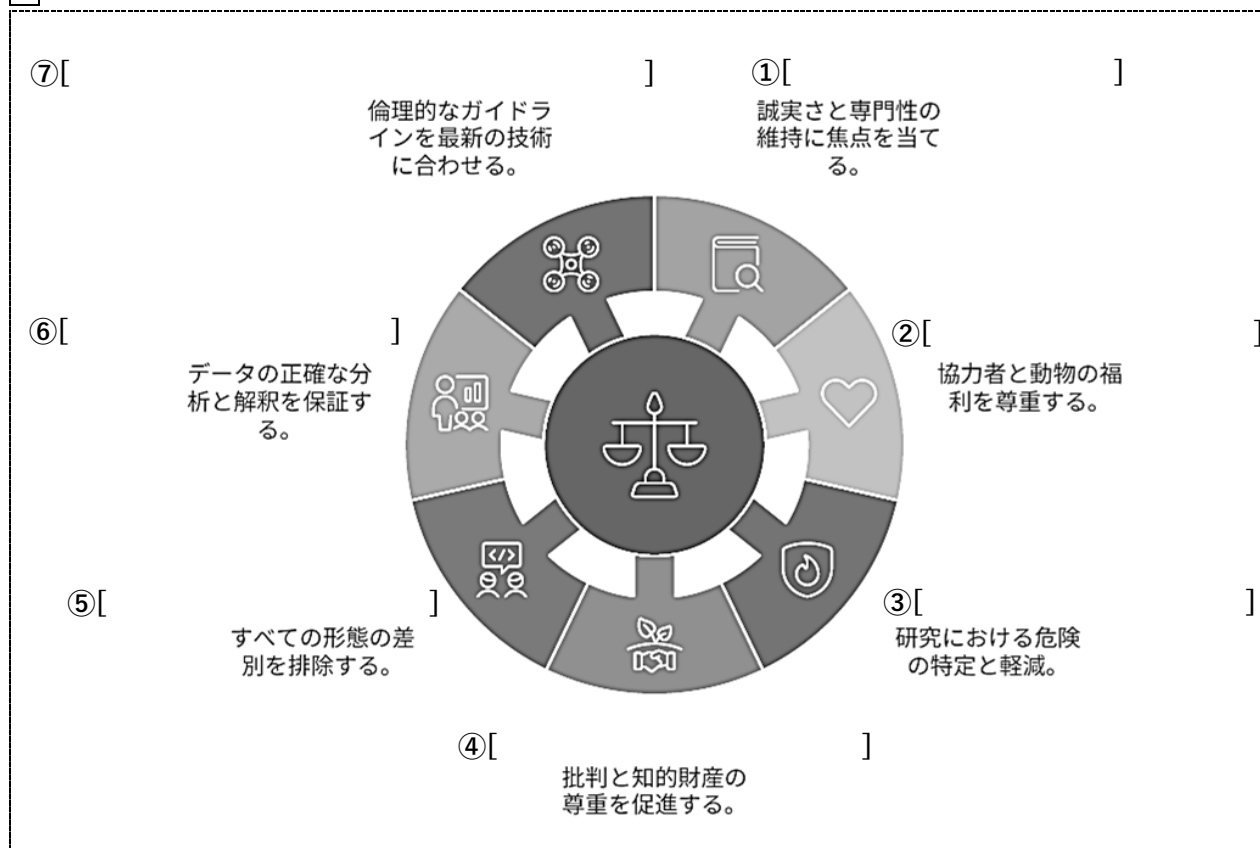


57期 総合的な探究の時間(No.2) 研究倫理を身につけよう

このワークシートを通して、研究倫理について考えていきましょう。

1 研究倫理 7つの観点



2 自分ならどうしますか？ また、このような事態を防ぐにはどんな対策をすればよいでしょうか？

① 研究を順調に進めていたが、実験の最初の方に使っていた食塩水の濃度を忘れてしまった。

② 研究が思うようにうまくいかない…。周りの人の研究はちゃんとしている(ように見える)のに。

3 次の4つの事例の課題点はどこでしょうか。

問題だと思う箇所に線をひき、下の空欄に「どのような対応が必要であったか」を記入しましょう。
また、このような事態を防ぐにはどんな対策をすればよいでしょうか？

事例①

研究発表会後に、データが不足していると考えた生徒たちが未実施の実験データをポスターに記載していた。実験を行った形跡が無く、この学校ではそもそもラボノートを生徒に記載させていなかった。指導者が事前に把握する体制もなかった。

事例②

PCで保管していた顕微鏡写真の明度やコントラストを変更し、オリジナルデータに上書き保存した。また、この写真をデータとして使い、研究レポートを作成した。

事例③

大学のプログラムの一環を利用して研究を行っている。指導を受けている大学教員からサポート・助言を受けているが、それらをすべて自身のオリジナルのアイデアとして研究を進めている。

事例④

探究活動の一環で脊椎動物の解剖を行っている。麻酔薬としてクロロホルムを使用していたが、教員が不在の際は、面倒くさいので白衣や手袋を着用せずに実験を行っていた。

(参考)

- ・ 日本学術会議改革検証委員会、『声明 科学者の行動規範－改訂版－』，2013
- ・ 文部科学省、『研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン』，2014
- ・ 日本学術振興会、『科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－』，2015
- ・ 一般財団法人公正研究推進協会中等教育系分科会、『中等教育の研究倫理探究指導のためのハンドブック』，2024，一般財団法人公正研究推進協会（APRIN）